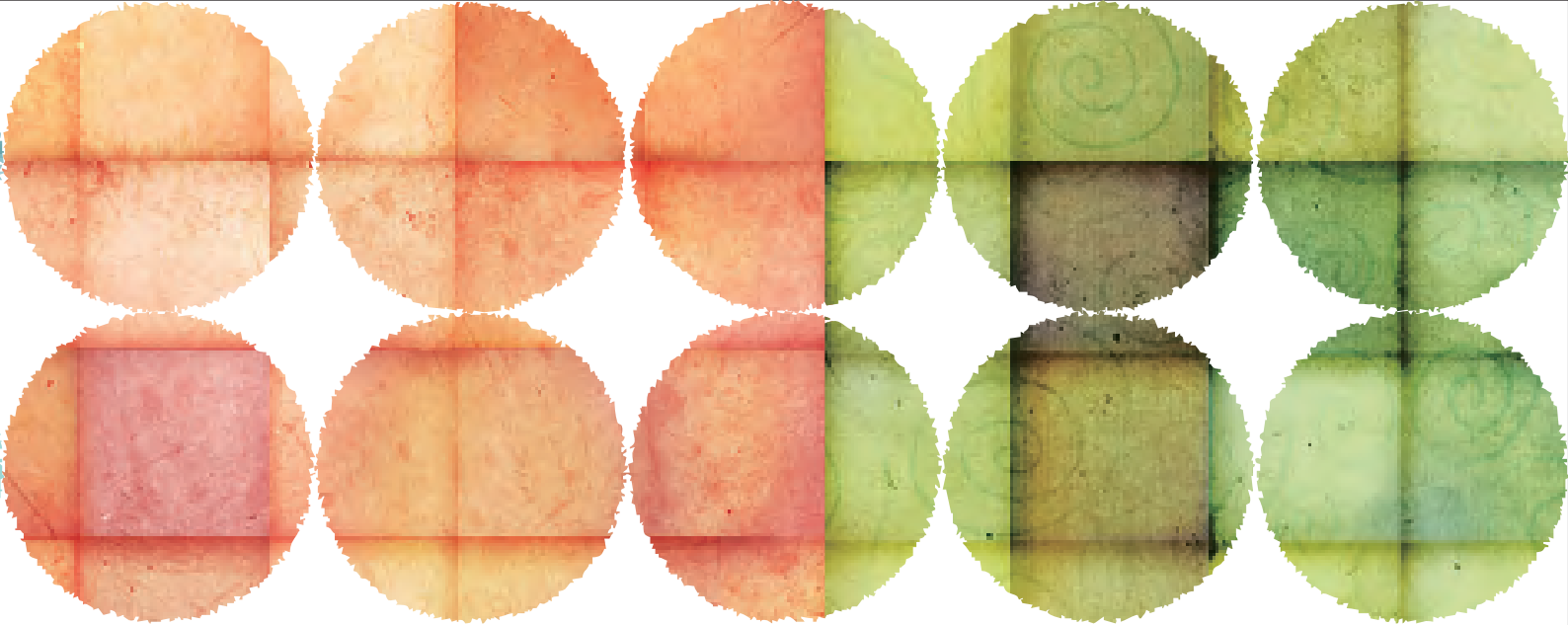
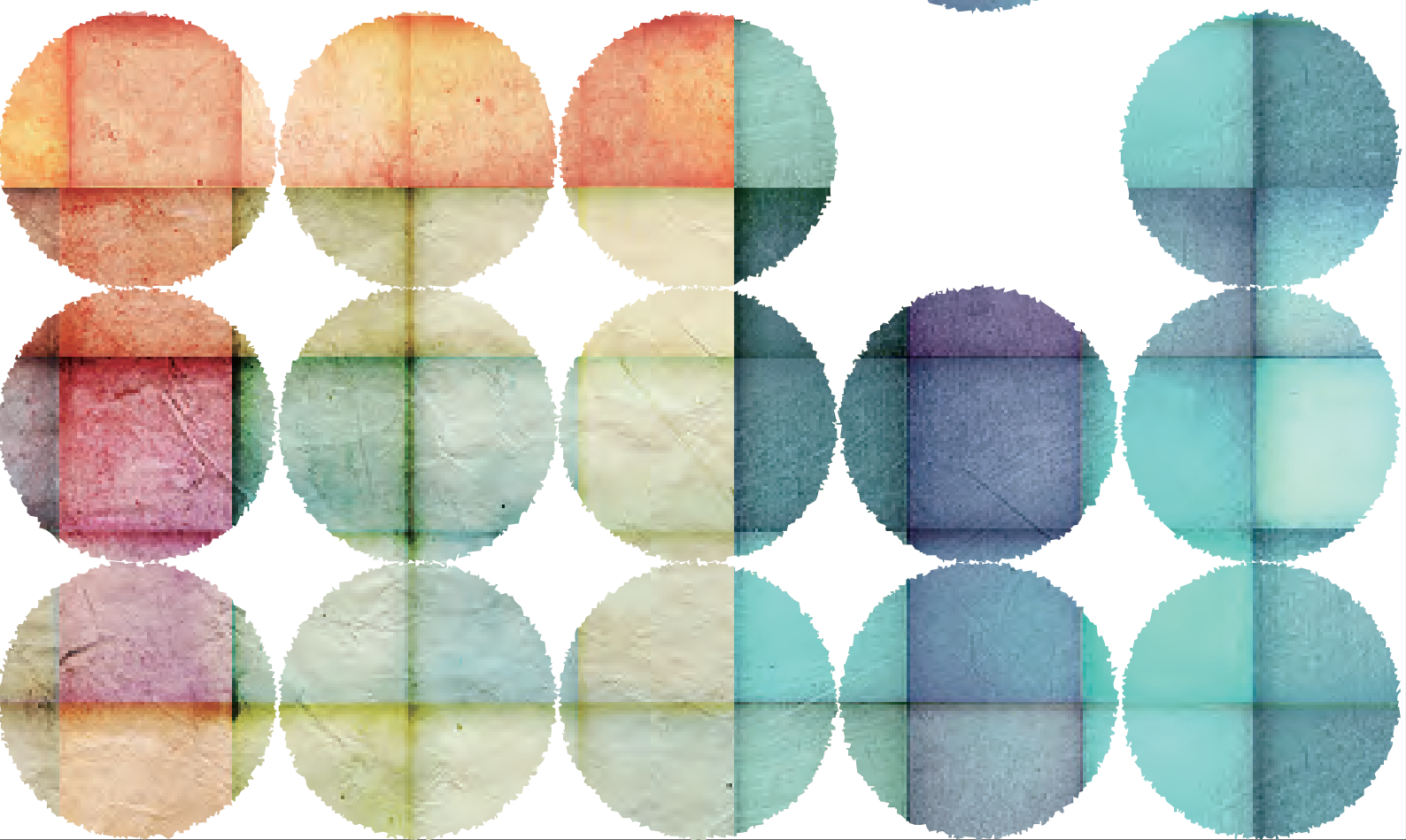
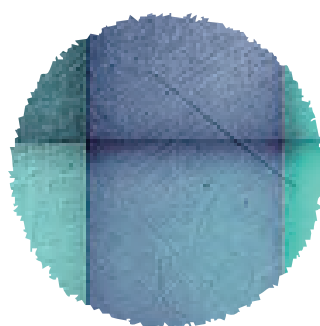




NPO
FUKUOKA
DESIGN LEAGUE
2016
ACTIVITIES
REPORT



NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE 2016 ACTIVITIES REPORT

NPO FUKUOKA デザインリーグ2016 活動報告

NPO FUKUOKA 디자인리 2016 활동 보고

特定非盈利活动团体 福岡设计联盟 2016 活动报告

NPO FUKUOKAデザインリーグとは

FUKUOKAデザインリーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興」を主な目的としてさまざまな活動を行ってきましたが、「デザインを経済のためだけでなく、社会の成熟のために活用する」という大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。世界はいま環境問題や高齢化問題など、さまざまな課題を抱えています。デザインは、いまこそその力を企業や経済のためだけでなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKAデザインリーグでは、ひとりのデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会(デザイン都市)」の実現を目指します。

What is NPO FUKUOKA Design League?

Based on Fukuoka City's Design Center Project, the FUKUOKA Design League (FDL) was established in 1996 as a private organization. Subsequently, with its secretariat located at the Economic Promotion Bureau of the Fukuoka City, the organization developed a broad range of activities, mainly aiming at economic growth through design. In 2008, however, the FDL was reorganized as a specific non-profit organization in order to achieve the even bigger goal of utilizing design not only for development of the economy but also for the promotion of a mature society. The world today faces a wide variety of problems, including problems related to the environment and aged society problem. Now is the time to use design not only for companies and the economy, but also for the entire society and the people living in it. Combining all the efforts of those committed to design, the FUKUOKA Design League strives to tackle social challenges too big for one designer alone to solve, and to realize a society in which people can live a comfortable life (design city).

NPO FUKUOKA 디자인리그란

FUKUOKA 디자인 리그는 후쿠오카시의 디자인센터 구상을 바탕으로 1996년에 임의단체로 발족하였습니다. 당시에는 후쿠오카시 경제산업국 내에 사무국을 두고 "디자인으로 이뤄내는 경제진흥"이라는 목적과 함께 다양한 활동을 계속해 왔습니다만, 이후 "디자인을 경제적인 측면뿐만이 아니라 더욱 성숙한 사회를 만들기 위해 활용하자"는 대의적인 사명 아래, 2008 년 특정 비영리 활동 법인으로서 시작하게 되었습니다.

세계는 지금 환경문제와 고령화 문제 등의 다양한 과제를 안고 있습니다. 따라서 지금이야말로 디자인의 힘을 기업과 경제, 그리고 사회와 시민을 위해 활용해야 한다고 생각합니다. FUKUOKA 디자인리그는 디자이너 개개인으로는 하기 힘든, 사회적인 과제에 대응해 나가기 위해 모든 디자인 영역을 통합한 종합적인 힘으로 '시민이 풍요롭게 살 수 있는 사회 (디자인 도시)' 실현을 목표로 하고 있습니다.

特定非盈利活动团体 福岡设计联盟 究竟是谁?

福岡设计联盟(FUKUOKA Design League)成立于1996年,是以创立“福岡的设计中心”这个构想为蓝本而成立的自由团体。联盟成立后在福岡市经济产业局内设立单独事务局,秉着“用设计的力量振兴经济”为目的开展了各种活动。2008年开始,以新使命“设计不应是仅为经济服务,更应为了促进社会的成熟而活用”为目标,福岡设计联盟作为特定非盈利活动团体再启动。现今世界各地都有着众多共通的社会课题,比如环境课题,老龄化社会课题。正是在这样的社会背景下,福岡设计联盟认为设计在为企业和经济发展服务的同时,设计的力量更应该活用于社会,活用于福岡市市民。以设计师个人力量无法解决的复杂社会问题,福岡设计联盟将会结合来自各个设计领域的综合设计团队来进行解决。为实现“市民能拥有美好丰富生活的社会(设计都市)”的目标,福岡设计联盟今后也将不断努力。

パブリックプロジェクト
＜自主事業＞
Public Projects
퍼블릭 프로젝트
公共项目

01 第9回 ユニバーサルキャンプ in 九州

9th Universal Camp in Kyushu
제9회 유니버설 캠프 in 큐슈
第9回 通用露營 in 九州



一緒に過ごすが見つかる「たくさんのつながりと気づき」
Discovering bonds and recognition, a good time spent together
더불어 살면서 알아가는 '수많은 인연과 깨달음'
一起度过, 才会发现, 心得与联结

02 デザインカフェ

Design Café
디자인카페
设计咖啡

知的好奇心の探求。
Intellectual curiosity
지적호기심의 탐구
探求求知的好奇心

03 福岡景観ガイドツアー

Landscape Guided Tour of Fukuoka city
후쿠오카 경관가이드 투어
福岡景观导游

福岡の良さを再発見。
Re-discover of Fukuoka city
후쿠오카의 매력 재발견
福岡之美再发现

04 わくワーク館デザイン提案プロジェクト

Design project of 'Waku-Work house'
와쿠워크관 디자인제안 프로젝트
开心手工馆设计提案

共に創る、売れるものづくり。
Create together (Manufacturing)
함께 만들고, 파는 제품 만들기
共同创作, 畅销产品

05 ユニバーサルカレンダー出版

Universal Calendar
유니버설 카렌다 출판
通用设计日历出版

誰の目にも優しいカレンダー。
A friendly calendar for all eyes
누이 편한 카렌다
通用设计日历

育成プロジェクト
Educational Projects
육성 프로젝트
培养项目

06 デザインスクールキャラバン in 南当仁小学校

Design School Caravan
in MINAMI-TOJIN ELEMENTARY SCHOOL
디자인 스쿨 캐러밴 in 미나미토진 초등학교
学校设计志愿队 in 南当仁小学校

まちづくりルールを考えて、わたしたちの街を住みやすく。
Thinking Town Planning, making a livable city.
지역만들기의 규칙에서 생각해보는 보다 나은 우리지역 만들기
从城市建设规则考量, 让我们的城市居住更方便。

07 デザインインターンシップ

Design Internship
디자인 인턴십
设计实习

現場で学ぼう! 学生たちの夏の挑戦。
Learn in the field! Summer challenge of Students
현장에서 배우자! 학생들의 여름 도전
在现场学习! 学生们夏天里的挑战

交流プロジェクト
Exchange project
교류 프로젝트
交流项目

08 第19回 福岡デザイン界合同大望年会

19th FUKUOKA Design Industry Joint "Dai-bonenkai"
제19회 후쿠오카 디자인업계 합동 대망년회
第19回福岡设计界合同大望年会

Let's 飲みニケーション!
Year-end party
Let's 마시면서 소통하자
让我们通过干杯交流!



サポートプロジェクト
＜受託事業＞

Support Projects
(Commissioned)
서포트 프로젝트
支援项目

09 福岡コンベンションセンター 広告デザインコンペ受託事業

Fukuoka convention center advertise
design competition recruitment project
후쿠오카 컨벤션센터 광고디자인 공모수주사업
福岡会展中心广告设计竞赛委托业务

福岡で会議をするなら、ベイサイドエリアへ。
Please come to Bayside area
if you wish to host a meeting in Fukuoka
후쿠오카에서의 회의는 베이사이드에서
在福岡开会, 就去港湾区

10 福岡市 モラル・マナー向上のための 学生コンペ業務委託

Student competition for the improvement of
Fukuoka City moral manners - commissioned project
후쿠오카시 공중도덕 향상을 위한 학생 공모업무 위탁
福岡市 提高城市道德礼仪的学生竞赛委托业务

モラルをマモル。ミライをツクル。
Improve the morals, make our future.
매너를 지킵시다. 미래를 만들어갑시다
讲文明, 创未来

11 デザインによる地域活性化の プラットフォーム構築事業

(平成28年度中小企業知的財産支援力強化事業)
Using Design for the development of a
regional activation platform
- 2016 intellectual property support
reinforcement project for Small and Medium enterprises
디자인으로 만드는 지역활성화 플랫폼 구축사업(2016년도 중소기업 지적재산 지원력 강화사업)
通过设计改善地域活力化的平台构筑业务(2016年中小企业知识产权支援强化业务)

デザインの本質的な価値と可能性を探る。
Exploring Design's essential value and potential.
디자인의 본질적인 가치와 가능성을 탐구
探索设计的本质的价值及可能性



01 | 第9回 ユニバーサルキャンプ in 九州 2016

◎日時／11月5日(土) ◎会場／国営海の中道海浜公園デイキャンプ場

一緒に過ごすと見つかる「たくさんのつながりと気づき」

2008年より開催しているユニバーサルキャンプ in 九州。老若男女、障がいの有無、国籍や文化の違いにかかわらず、多様性(ダイバーシティ)の視点に立ち、「みんなが一緒にいきいきと暮らせる社会」の実現を目指す交流イベントです。今回で9回目となるキャンプは、昨年に続きデイキャンプですが、内容は盛りだくさん。段ボールでピザ窯を作り、昼食は具沢山のピザです。竹を組んで作った庵を囲んだお茶会や、毎

年恒例のポッチャ※(スポーツ)に大いに盛り上がりました。東京から参加の大瀧由美子さんによる朗読と曲に合わせた手話パフォーマンスは、バックに広がる博多港と暮れかかる夕暮れと共に素晴らしい体験でした。夕食のバーベキューでは、食材をワイワイと串に刺し、個性豊かな食材となりました。竹を割った中にお米を入れて炊いた白米は風味豊かで屋外ならではの名物メニューとして定着しました。

※「ポッチャ」とはジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

●担当者感想

デイキャンプは、時間が短い分、内容を詰め込み、充実させることができます。一緒に屋外で活動し、食事を共にすることで、気持ちを共有することができました。

<椋本 敏行>

02 | デザインカフェ

◎日時／5月18日(水)、8月31日(水)、10月28日(金) ◎会場／九州大学大橋サテライト「ルネット」

◎講師／宮本初音氏、岡 大輔氏、照井善明氏

Vol.25のテーマは、「アートは、地域活性化の救世主か?」。アート分野で大きな論議を巻き起こしている藤田直哉著「地域アート」が提起した問題をめぐって、宮本初音さんにアートと地域活性など様々な視点からお話して頂きました。参加者28名。

Vol.26は「フィンランドデザインの最新情報」。フィンランドは独立100周年を迎える、歴史的にはとても若い国です。岡大輔

さんによるフィンランドの最新情報や日本との類似点と相違点、フィンランドデザインとデザインが生まれる背景から垣間見えたものについての報告でした。参加者23名。

Vol.27は「新疆ウイグル自治区の今」。かつては玄奘三蔵や探検家ヘーデンが訪れた西域のカシュガルやホータンなど、タクラマカン砂漠の周辺都市の最新の情報を照井氏が20世紀初頭にこの砂漠地帯に足跡を

残した探検隊のエピソードを交えながら報告しました。参加者11名。

知的好奇心の探求。

●担当者感想

それぞれ内容の濃いデザインカフェではありましたが年3回の開催にとどまりました。次年度は開催場所や案内方法を再検討し、より魅力のあるカフェを開催したいと思います。〈照井善明〉



03 | 福岡景観ガイドツアー

◎日時／4月9日(土) 10:00~15:00、福岡市東区名島エリア ◎日時／12月3日(土) 10:00~15:00、博多北部エリア

◎講師／水野 宏氏、照井善明氏

●名島エリア

名島には古代から実に不思議な歴史があります。古墳時代の神功皇后伝説をはじめ、小早川隆景、豊臣秀吉、リンドバーク、孫文、蒋介石と実に多彩な人々がこの地を訪れています。名島城は福岡城築城の材料として解体されましたが、なおその痕跡をとどめる名島城跡地を中心に、古代から近代へと様々な歴史の痕跡が残る地を巡りました。主な訪問地は名島火力発電所跡、名島城跡、宗栄寺、弁財天、名島水上飛行場跡、妙見島跡地、名島橋でした。参加者24名。

●博多北部エリア

中世の博多は瓢箪型をしていたと言われてます。今回はくびれの跡の大水道跡や楊ヶ池神社跡周辺から北のエリアを案内しました。菅原道真、豊臣秀吉にちなんだ歴史痕跡、元寇防塁跡、太平洋戦争の痕跡など多彩な時代を思いうかべるまちを歩きました。主な見学先は綱敷天満宮、神屋宗湛屋敷跡・豊国神社、大同庵跡(古溪水)、店屋

町、呉服町、綱場町、奈良屋町、古門戸町、須崎町、神屋町、対馬小路、袖の湊跡(大水道跡、楊ヶ池神社跡)、綱敷天満宮、博多小学校(元寇跡)、沖濱稲荷神社、万四郎神社です。参加者19名。

●担当者感想

名島のツアーでは、都心部からはなれたこんな地域にも大きな歴史の痕跡が幾重にもあり、古代から半島状に博多湾に突き出た地形が多くの人を呼び寄せたのかと思われます。博多北部のツアーでは、博多の歴史の奥行きを再認識させられました。水際に多くの歴史的な事柄が起こることも分かり、博多発展のプロセスを理解することができます。〈水野 宏〉

福岡の良さを再発見。



04 わくワーク館デザイン提案プロジェクト

◎期間／4月～2017年3月 福岡デザインアワード会期／10月19日(水)～20日(水)

◎会場／わくワーク館(打ち合わせ等) アクロス福岡(福岡デザインアワード)



共に創る、売れるものづくり。
木工製品の製作を中心に活動している就労支援事業所「NPO法人 わくワーク館」の依頼を受け、商品開発や販売支援を行ないました。昨年度に続き、福岡デザインアワードに出展することを念頭に、新商品の開発に着手しました。新しく創り出した商品は組立て式のモバイルで「時と宙」というネーミングです。小宇宙を感じさせる形状や無駄のないパッケージ、世界観を表現したネーミング等が評価され、福岡デザインアワードでも入賞を果たしました。また、この商品に関しては意匠登録出願も行ない、今後は卸先の開拓や直販ルートの上上げなど、販売面の充実が課題となっています。

●担当者感想

月1～2回のペースで開催していた定例会に、今年度からわくワーク館の製造担当のメンバーも加わりました。その結果、今回の商品開発は昨年に比べ、わくワーク館が主体的にプロジェクトに取り組むという良い効果があったように思います。そういった意識改革ができた点が今年度の一番の成果であったように感じています。

<長尾朋貴>

Design project of 'Waku-Work house'

05 ユニバーサルカレンダー出版

誰の目にも優しいカレンダー。

2017年度版は眼科医師のアドバイスをを受け、ロービジョンの方により使いやすいものを目指しました。視覚的な情報ノイズを可能な限り減らし、QRコードで毎月の歳時記情報などを音声で読み上げ、楽しめるカレンダーとなりました。2017年5月には仙台で開催された日本ロービジョン学会学術総会に参加してユニバーサルカレンダーを発表し、ロービジョンの方や研究者の方と情報交換をしながら、いろんな角度からの

意見を得ることができました。今後も多くの方の意見を取り入れながら、目にやさしく使いやすいカレンダーを作り続けていきます。

●担当者感想

変えるべきところと、変えてはいけないところ。シンプルなものだけに毎年悩みますが、少しずつ形を変えながらより良いものを志向していこうと思います。

<計盛政利>



Universal Calendar



まちづくりルールを考えて、
わたしたちの街を住みやすく。

06 | デザインスクールキャラバン2016 in 南当仁小学校

◎日時／11月30日(水)8:40~16:00 ◎会場／福岡市立南当仁小学校

◎講師／DSA九州支部・JAGDA福岡地区・JCD九州支部・JIA九州支部福岡会・SDA九州地区 等団体会員35名

今年のスクールキャラバンは、「デザイン＝考える」をコンセプトに、まちづくりのテーマをこどもたち自身で考えることから始めました。また事前授業を2回取り入れ、デザインを学ぶ総合的な学習プログラムを目指しました。対象エリアはこどもたちに身近な南当仁小学校校区を選び、わたしたちの生活の中にある困ったことや、禁止したいことなどの問題点を抽出し、話し合います。その中からこのまちの景観の在り方や建物の色彩、道路についての課題に対し、

提案や解決策を繰り返し議論しました。そして自分たちの理想とする住みやすい街をつくるためのルールが出来上がりました。一人ひとりの考えがみんなの考えになり社会を形成していきます。5つのチームに別れて製作していたそれぞれの模型を合体するとまた新たな問題点が生れます。1日という短い時間の中で様々な課題をこどもたち自身が解決し、同時に創造する楽しさを学びながら、理想の「わたしたちのまち」が完成しました。

●担当者感想

近年のスクールキャラバンは工作物が大型化し、模型を作り上げることに時間が追われていました。今回は今一度「デザイン」に軸足を置くことを念頭に、関係者で授業の在り方を議論しました。デザインの教科書「デザインのすすめ」を使った実用性の高い事前授業により、今後のこどもたちの生活に「デザイン」がより身近なものになったのではないかと考えます。

＜原 正俊＞



Design School
in MINAMI
TAKEMOTO
CHARAVAN
SCHOOL

07 デザインインターンシップ

◎インターンシップ期間／8月～9月 ◎参加企業／10社 参加学生数／10名

現場で学ぼう！学生たちの夏の挑戦。

2003年度より、デザイナーを志す大学・専門学校を学生を対象に、デザインの現場を体験する「デザインインターンシップマッチング事業」を行っています。

<実習レポートより一部抜粋> (受入先／在校名)
・模型製作を中心に現場見学、レクチャーなどを受けたことで、今の自分の力不足、知識不足を痛感しました。日々修正される

図面に合わせて模型も修正するなど、今まで経験したことがないことが多く、実際の職場でないと学べないことばかりでした。

(環・設計工房／福岡大学 建築学科 3年生)

・昨年と同じく3週間のインターンシップ期間で、建築の知識を学びました。今回、所長とゆっくり話をすることができ、建築設計に対するいろんな思いをきくことができました

た。ものづくりを目指す者として、まだまだ経験の浅い自分ですが、自分のデザインに対する思いを見つけないと思います。

(スピングラス・アーキテクト／九州大学 芸術工学部 修2年・留学生)

08 第19回 福岡デザイン界合同大望年会

◎日時／2016年12月15日(木) ◎会場／AMON DINING

19回目を迎える福岡デザイン界の合同大望年会。今回は「ちょっと大人のお洒落なパーティー」をテーマに中洲のアモンダイニングで行い、約100名の方に参加いただきました。イベントはあまり行わず、ゆっくりと飲みながら交流を深めることが出来たと思います。会の終わりには毎年恒例の抽選会で盛り上がり、締めはいつもの祝いめでたと博多手一本でした。次回(2017年)はデザイン都市を創る会の20周年ですので、これまでの集大成としてビッグイベントにしたいと思っていますので宜しくお願いします！

●担当者感想

今年も参加者に新しい顔ぶれが見られ交流会として成功したのではないかと思います。ただスタッフはいつも同じメンバーなので企画がマンネリ化しないように頑張っています。参加人数がギリギリまで確定しない中で会場との打合せは色々大変ですが、次回の20周年には是非新しいスタッフに参加してもらって一段と盛り上がりたいと思います。<梅本幸治>

Let's 飲みニケーション！



19th FUKUOKA
Design Industry Joint
“Dai-bonenkai”

09 福岡コンベンションセンター広告デザインコンペ受託事業

◎募集期間／9月23日(金)～10月31日(月) ◎審査会／11月8日(火)

福岡市外郭団体の一般社団法人福岡コンベンションセンターの依頼で、ビジネス用の冊子や新聞に掲載するための広告のデザインです。コンベンションセンターという公共性から、コンペティションによるデザイナー選定が委託内容に含まれていました。一次審査は書類審査、最終審査は一次審査で選考された3名が制作したデザインで、福岡コンベンションセンターの理事4名とFDL理事3名による審査をし、制作者1名(1社)を選定しました。

●担当者感想

選定されたデザインは、福岡市の交通機関、主に空港と博多駅から3施設(福岡国際会議場・マリニメッセ福岡・福岡国際センター)までの距離感を寿司ネタの新鮮さで表現していた点が評価されました。また広告が掲載される媒体が日本物流新聞や日刊工業新聞というビジネスに特化していることと一致していました。

<岡 真由子>

福岡で会議をするなら、
ベイサイドエリアへ



●決定デザイナー

村上智一(JAGDA)

●一次審査通過デザイナー

計盛政利(JAGDA)

森重正治(JAGDA)

10 福岡市 モラル・マナー向上のための学生コンペ業務委託

◎募集期間／1月16日(土)～3月8日(火) ◎審査日／3月10日(木)

モラルをマモル。ミライをツクル。



●最優秀賞

原田雄大

(日本デザイナー学院2年)

●優秀賞

瀬戸佳音

(麻生建築&デザイン専門学校1年)

●優秀賞

上総万里花

(麻生建築&デザイン専門学校1年)

福岡市は、「人に優しく安全で快適なまち福岡をつくる条例」(通称モラル・マナー条例)に基づき、市民や企業・団体と一体となってモラル・マナーの向上に取り組んでいます。その一環として、モラル・マナー向上に対する関心や理解を深めるためのポスターデザインを募集しました。若い世代に興味を持ってもらうため、高校生以上の学生対象コンペとしました。募集期間が3学期だったため、デザイン系学生は卒業制作に追われていたり、すでに春休みに入っていたり、募集自体が広がらなかったことが残念でしたが、会員校のご協力で11作品の作品応募がありました。審査会は福岡市より2名、FDL理事より3名で審査しました。

●担当者感想

モラルを守らない人が広告に目をやるだろうか、そういう人にも興味を持ってもらえるような「マモル」の中から『モラル』を探さ、という楽しい点が評価されました。

<岡 真由子>

11 デザインによる地域活性化のプラットフォーム構築事業 (平成28年度中小企業知的財産支援力強化事業)

◎地産デザイン2016(北九州・熊本・福岡)各地域ワークショップ4回～8回

◎デザイン横丁2016

- 鹿児島/10月6日(木) マルヤガーデンズ7階
- 佐賀/11月25日(金) Cafe CIEMA
- 大分/12月10日(土) 大分銀行 赤レンガ館
- 長崎/1月21日(土) 長崎市電車内、出島内外倶楽部1Fレストラン

◎小学生向け知財・デザインテキスト制作・出版

◎地産デザイン2016報告書制作・出版

◎九州デザインサミット2016 in 宮崎(12月9日(金) 宮日会館ホール)

◎デザインシップ九州2016-2020(2月10日(金) アクロス福岡円形ホール)



Special Thanks

九州内のデザイン環境の充実を目指し、多方面の協力を得つつ有益と思えるネットワーク構築を試みております。本事業もその一環であり、下記団体の協力のもと実施されております。

九州デザインネットワーク

- 北九州総合デザイナー協会 (KDA)
- くまもとデザイン協議会 (KD21)
- 九州デザインサミット2016 in 宮崎実行委員会

- 九州アートディレクターズクラブ (K-ADC)
- 九州経済産業局
- 筑城大学芸術学部
- 九州栄養福祉大学 食物栄養学部
- 東筑短期大学 食物栄養学科
- 知的財産総合事務所 NEXPAT (社団法人)

デザインの本質的な価値と可能性を探る。

このプロジェクトは九州経済局の支援をいただき、九州デザインネットワークを通じて九州全域を対象とするデザインのプラットフォーム構築を目指す事業として実施しました。特許庁が推奨している「デザイン思考」「知財活用」の浸透をデザインの視点から計るものです。事業の柱は a: デザインによる地元中小企業の問題解決事業。b: デザインの価値を伝える人づくり事業。c: デザインネットワーク構築事業の3点です。それぞれに「デザイン横丁」「地産デザインワークショップ」「小学生向け知財デザインテキスト作成」「プロ、企業向け知財デザイン戦略テキスト作成」「デザインサミット」などの個別事業を展開しました。その後、成果報告とこれからの展望を語り合い、プラットフォームの確実な構築をめざすためのシンポジウム「デザインシップ九州 2016～2020」を開催しました。年間通して行った今回の

事業テーマは、「地域、企業、人を元気にするデザイン思考」です。デザインのもつ本質的な価値とそれに伴う新しい可能性を探るものになったと思います。

●担当者感想

初めての補助金事業として制度の勉強にもなりました。この場を借りて、ご協力、ご参加いただいた会員各位、関係団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

<武永茂久>



Development of a

NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE 2016 ACTIVITIES REPORT

あとがき

2016年は、「デザインによる地域活性化」をテーマに様々な事業を九州全域で実施することができました。地域の課題をデザイン力で解決する「地産デザインワークショップ」と「デザイン横丁」の実施、デザインの価値を伝える「デザインのすすめ」と「Chisan Design Kyushu 2016」の編集、さらに九州のデザインネットワークを構築する「九州デザインサミット」と「デザインシップ in 九州2016-2020」の開催等、九州各地のデザイナー諸氏との協働で大きな成果を残すことができました。事業のチャンスをいただいた九州経済産業局と、北九州、熊本をはじめとする九州各地のデザイン団体、およびデザイン関係者に深くお礼を申し上げます。

また恒例の事業であるデザインスクールキャラバンやデザインカフェ、ユニバーサルキャンプin九州等も、例年以上に活発に進められました。

2017年FDLは発足から20年を迎えます。スタート当初は各デザイン団体の集合としてイベントを中心に事業が進められましたが、時代の変化とともに活動の内容も、さらにFDLの存在意義も大きく変化しています。今後NPOとして社会に何が提供できるのかを再度見直し、FDLの方針を確認したいと考えます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

NPO FUKUOKAデザインリーグ理事長 定村 俊満

NPO FUKUOKAデザインリーグ会員 (2017年3月31日現在)

■団体正会員

(公社)日本建築家協会九州支部福岡会(JIA)
(公社)日本グラフィックデザイナー協会福岡地区(JAGDA)
(公社)日本サインデザイン協会九州地区(SDA)
(一社)日本商環境デザイン協会九州支部(JCD)
(一社)日本空間デザイン協会九州支部(DSA)
九州アートディレクターズクラブ(K-ADC)
(公社)日本インテリアデザイナー協会(JID)
福岡県産業デザイン協議会
麻生建築&デザイン専門学校
九州デザイナー学院
日本デザイナー学院
福岡デザイン専門学校
株式会社環境デザイン機構

■個人正会員 (50音順)

阿武 寿志	金 戊丁	長畑 一志
池浦 和也	権藤 真	長峰 栄子
犬山 祥子	坂元 成人	萩原 武治
内田 正宏	嶋本 和夫	橋爪 大輔
鬼塚 淳子	正田 美加	廣瀬 正人
加瀬 仁人	張 彦芳	松山 真介
川崎 泰秀	照井 善明	棕本 敏行
神田橋 幸司	長尾 朋貴	山崎 睦昌
木下 浩市	中島 梨沙	吉田 寛史

■団体賛助会員

株式会社正興電機製作所
株式会社ステッカートレーダージャパン
社会福祉法人未来駅
福岡インテリアコーディネーター協会(FICA)
(公社)日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)

■個人賛助会員 (50音順)

石井 由美子
北川 千枝
北村 里美
田中 亮二
樋口 敬
宮崎 琢実

■学生賛助会員

広渡 千春

■名誉会員

水口 敬司(平成20～22年度理事長)
渡辺 顯好(平成23年度～27年度理事長)

■役員

理事長 定村 俊満	理事 板野 仁志
副理事長 佐藤 俊郎	理事 熊野 学
副理事長 武永 茂久	理事 吉永 文治
専務理事 廣瀬 正人	理事 伊場 芳朗
理事 棕本 敏行	理事 大久保 映介
理事 森重 正治	理事 照井 善明
理事 大庭 香代子	理事 深町 俊彦
理事 長峰 栄子	理事 長尾 朋貴
理事 水野 宏	監事 川崎 泰秀
理事 兒島 正明	監事 正田 美加
理事 中牟田 麻弥	

特定非営利活動法人 FUKUOKA デザインリーグ 2016 活動報告書

〒815-0033 福岡市南区大橋 1-3-27 九州大学大橋サテライト内
TEL : 092-551-0825 FAX : 092-405-0825
Email fdjimu@f-design.gr.jp
URL <http://www.f-design.gr.jp/>

編集/岡 真由子 翻訳/金 戊丁 張 彦芳 デザイン/垣田 健吉郎

